

取扱説明書

パーキングエアコン WAX-0910

冷房専用





もくじ

安全上のご注意 ・・・・・・・1~2
はじめに ・・・・・・・・・・・・・・・・・3
各部の名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・4
操作方法と表示内容 ・・・・・・・5
エラーとその内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
保証規定 ・・・・・・・・・・・・・8
保証書 ····································

- ●このたびはパーキングエアコンをお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。
- ●この説明書には本製品を安全に正しくお使いいただくために重要な事項が掲載されています。ご使用される方がよくお読みになり、十分に理解してからご使用ください。
- ●お読みになった後は大切に保管し、必要になった時に取り出せるようにしてください。

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止 するために、いろいろな絵表示をしてます。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読み ください。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、 🕂 警告 死亡または重傷を負う可能性が想定される 内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、 障害を負う可能性が想定される内容及び物 的損害の発生が想定される内容を示してい ます。

絵表示の例

この記号は警告・注意を 促す内容があることを告げる ものです。



この記号は禁止の行為であることを 告げるものです。図の中には具体的 な禁止内容が描かれています。



この記号は行為を強制 したり指示する内容を告げる ものです。

- ●取り付け、修理、冷媒の充填/回収をご自身で行わない 当社お客様サポートセンター、または資格のある人が行ってください。ご自身で行われますと、感電、発火、故障の原 因となります。
- 、●車が走っている時にはパーキングエアコンを使用しない 本機は車が停止した状態で動作する設計になっています。走行中に使用しますと、故障や寿命の劣化の原因につな がります。
- ●パーキングエアコンの使用中に車のエンジンをかけない 本機の使用中にエンジンを始動させるとバッテリーの劣化や故障の原因になります。
- 、●パーキングエアコン使用後は走行して充電する バッテリー上がりの原因になります。特にバッテリー保護機能が働いた時(メインコントローラーにE1が表示された時) はバッテリーの消耗が大きいですので、バッテリーが充電するまで走行してください。
- ●車両を5日以上使用しないときはバッテリーから電源ケーブルを外す。 バッテリー上がりの原因になります。
- ●キャビンを傾ける前にパーキングエアコンを停止させる 本機には傾けるとスイッチが切れる安全装置が付いていますが、室内機の取り付け方向によっては検知できません。
- ●室内機の吸い込み口や室外機のファンに指や棒などを入れない。 | 内部でファンが高速回転していますので、けがや故障の原因になります。
- ●室内機の吹き出し口に指や棒などを入れない ↑ **▼主い版の外で回じ口には、は、こことには** 内部に熱交換のためのフィンがありますので、けがや故障の原因になります。
- キャビンを傾ける時はドレン水が確実に排水されたことを確認する 冷房運転時には熱交換器から結露水が出ますので、パーキングエアコン使用直後にキャビンを傾けると水が車内に 漏れるおそれがあります。
- 室内機や室外機をお手入れする時には柔らかい布を水に浸し、よくしぼってから拭いてください。また、水分がよく乾い たことを確認してからお使いください。

●メンテナンス

- ・パーキングエアコンは、冬の間も部品への潤滑のため最低月に一度は運転してください。長い間動かさないと潤滑部が乾燥してしまいます。
- ・定期的に室外機のお手入れをしてください。必要なら圧縮エアーでブローします。この時、熱交換器のフィンでケガをしないよう気を付けてください。
- ・昆虫、繊維などが熱交換器のフィンに溜まると、熱交換器の効率を妨げるおそれがあります。
- ・冷房シーズンのはじめにパーキングエアコンを使用する際は、始動前にパーキングエアコンに異常がないか、すべての箇所を点検してください。
- ・運転台を水で洗浄する際には、室外機にジェット水流を掛けないよう十分気を付けてください。熱交換器のフィンが破損したり、曲がったりするおそれがあります。

●パーキングエアコンを効率よく使用するために

- ・運転時にキャビンの温度が高くなっている場合は、できるだけ速やかに熱を下げるため、車をできるだけ日陰に停めます。その後しばらく車のエアコンでキャビンの温度を下げた後エンジンを切り、パーキングエアコンのスイッチを入れて必要な温度にします。
- ・夏季の日中、直射日光にさらされた場合は、時々窓やルーフハッチを開けて上昇したキャビン内の温度を下げてください。
- 冷気が逃げないように窓やドアは必要なとき以外は閉めておいてください。
- 運転席とベッドとの間を仕切るカーテンは閉めます。

●はじめに

- ・本製品「パーキングエアコン」は、夜間または昼間、トラックキャビンの仮眠エリアで使用できるエアコンです。
- ・本エアコンは、キャビン内に取り付ける室内機と外に取り付ける室外機の2つで構成されており、どの車でも特別な改造を施すことなく取り付けることができます。
- ・本製品には、環境に配慮したR134a冷媒を使用しています。

●機能・特徴

- ・冷房運転に加え、送風運転も可能です。
- ・30分単位のオフタイマー運転が可能です。
- ・温度を設定せずに最低能力で運転するセーブパワーモード(SP)があります。
- ・フルパワーモード(FP)により急速冷房が可能です。
- ・バッテリー電圧が低下すると自動的にエアコンが停止するバッテリー保護機能付きです。

●仕様

冷房能力	650W (通常)~ 1900W (最大/ターボ)
電圧	DC24V
消費電流	7.5A/h (通常)~ 32A/h (最大/ターボ)
使用時間	最大6時間(バッテリーの容量による)
冷媒	R134a(CFC−free) 使用量:600g
寸法	室内機:838(W) × 336(H) × 147(D) 室外機:850(W) × 269(H) × 515(D)
重量	室内機:8kg 室外機:33kg
付加機能	バッテリー保護機能(バッテリー電圧が21.5Vまで低下すると自動停止)

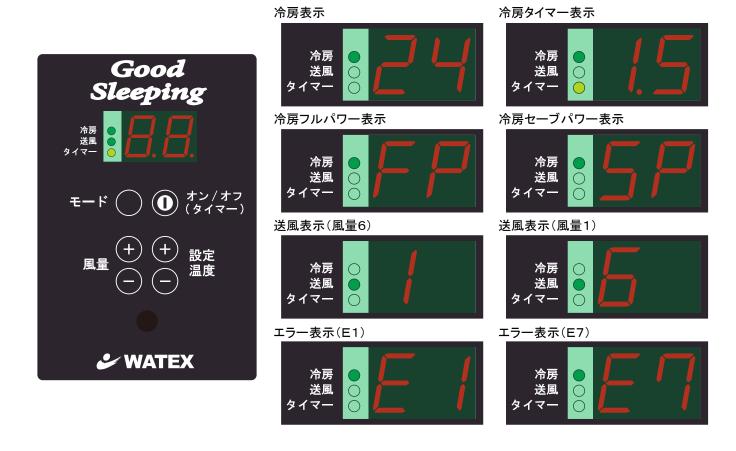


〈室内機〉



〈操作パネル〉





表示内容(例)

ボタン	操作方法	
オン/オフ(タイマー)	1秒長押しで運転/停止	
	・運転中に短押しでオフタイマー(O. 5~6. O時間)	
モード	冷房と送風モードの切り換え	
風量	1~6まで切り換え	
設定温度	17~28℃まで設定	
	・28℃表示でさらに「+」を押すと「SP」(セーブパワー)モード	
	・17℃表示でさらに「ー」を1秒長押しで「FP」(フルパワー)モード	

<補足>

●オフタイマー

- ・エアコンの運転中にこのボタンを短く押すとオフタイマー運転になり、タイマーランプが点灯します。
- ・設定したタイマー時間を表示した後、設定温度表示に戻ります。
- ・押すごとに0.5時間単位で最大6.0時間まで設定できます。 0.5 → 1.0 → 1.5 → ・・・ → 5.5 → 6.0 → 通常運転(タイマーランプ消灯)

●セーブパワーとフルパワー

- ・通常の運転モード(設定温度を表示している状態)では、冷房運転によって室温が下がるとコンプレッサーが停止して送風状態になりますが、セーブパワーモードは室温とは関係なくコンプレッサーが最低出力で動作します。
- ・フルパワーモードはバッテリーの消費が大きくなるため、2時間で自動的に解除して17℃設定になります。

表示	内容
E 1	バッテリー電圧エラー: バッテリー電圧が低下してエアコンを運転することができません。(注)
ЕЗ	コンプレッサー始動不良: コンプレッサーのローターがロックしているか、冷却回路内の圧力が高すぎてコンプレッ サーが始動できません。
EY	コンプレッサー回転不良: 冷却回路が過負荷になってコンプレッサーが最低回転速度を維持できません。
E5	室外機コントローラー温度異常: 冷却回路が過負荷または室外機周辺の温度が高すぎて室外機コントローラーの保護装 置が働きました。
E7	通信エラー: 室内機と室外機間の通信が遮断されています。
E8	温度センサーエラー: センサーの短絡または接続不良が発生しています。
E 9	室内ファン異常: 室内機のファンがロックしているか過負荷になっています。
EΩ	室外ファン異常: 室外機のファンがロックしているか過負荷になっています。

注)バッテリー保護機能(エアコン自動停止)

パーキングエアコンの使用によってバッテリー電圧が21.5V以下まで低下すると、E1エラーが表示されてエアコンが停止します。なるべく早めにエンジンを始動し、バッテリーが充電されるまで通常の走行を行ってください。



エラーメッセージE1が表示されたまま車両を放置しますと、バッテリーが上がります。

バッテリー電圧が25.3V以上まで回復すると再びパーキングエアコンを使用することができるようになります。

-	8	-
---	---	---

-	9	-
---	---	---

-	1	0	-
_	1	U	-

- 1. 保証書・取扱説明書の記載事項に沿った正常な使用状態で万が一不具合が発生した場合、 規定に基づき、無償にて不具合箇所の修理等対応させていただきます。
 - 修理をご依頼いただく際、製品に保証書を添えてお買い上げの販売店にお持ちいただくか、または当社お客様サポートセンターへご送付ください。尚、当社お客様サポートセンターまでご持参またはご送付いただく際の諸経費はお客様でご負担願います。
- 2. 次の場合は、保証期間内でも保証の対象となりません。
 - ①保証書のご提示が無い場合
 - ②本保証書の所定事項の未記入・複製・改ざんがある場合
 - ③お買い上げ後の輸送・移動時の落下または衝撃等、お取り扱いが適当でない場合に 生じた故障・破損の場合
 - ④お客様による不当な分解や改造、取扱説明書の記載事項を無視したお取り扱いによって生じた故障・破損の場合
 - ⑤当社以外で修理・部品交換などのメンテナンスを行った場合
 - ⑥火災・地震・落雷・塩害・風水害等の天変地異、公害や異常電圧などの外部要因に より生じた故障・破損の場合
 - ⑦付属ケーブル類の消耗・破損の場合
 - ⑧日本国外で使用の場合
- 3. 下記の場合には免責事項として保証範囲に含まれません。
 - ・保証書、取扱説明書の記載事項に沿った正常な使用下で、消耗部品が自然消耗もし くは摩耗した動作不具合の場合
 - ・付属品以外の物品を使用したことから生じた不具合、故障など。
 - 本製品の不具合、故障などにより直接的または間接的に生じたその他の障害。